

■韓国：南アフリカと原子力協定を締結

外交通商部 (MOFAT) は 2010 年 10 月 8 日、南アフリカ政府と原子力協定を締結したと発表した。MOFAT によると、10 月 8 日にソウルで MOFAT の甲第 1 次官 (長官代行) と南アフリカの Dipuo Peters 鉱山エネルギー相が原子力協定に署名した。協定には、原子力の平和利用や国際原子力機関 (IAEA) による保障措置の履行のほか、原子力技術の共同研究、原子力発電所の設計・建設分野と放射性廃棄物分野における協力、共同調整委員会の設置などが盛り込まれている。南アフリカでは、現在、Koeberg 原子力発電所 (PWR : 184.2 万 kW、92.1 万 kW×2 基、1984、85 年運開) が稼働しているが、2025 年までに新たに 1,200 万 kW 規模の原子力発電所の建設が計画されている。MOFAT の関係者は「今回の協定は、韓国企業が南アフリカの原子力発電市場に進出する足がかりになる」とコメントしている。なお、10 月 8 日には、Kgalema Motlanthe 副大統領が青瓦台 (大統領府) で李大統領と協議し、今後、火力発電などの原子力以外の分野でも協力が進展する可能性がある。